



# 雀宮の魅力を発信！



雀だより

2021年（令和3年）8月25日発行

第58号

# チュンチュン



## 聖火ランナー、走る！



地元雀宮の皆さんが、  
2020東京オリンピックの聖火ランナーを務めました。



針ヶ谷町 布野俊一さん



高砂町 小林隆さん



昭和39年の聖火リレー（国道4号宮の内付近）



羽牛田町 篠崎順子さん

### もくじ



- 聖火ランナーインタビュー ..... 2
- 地域の皆さんの活動を紹介！雀アラカルト ..... 3
- 雀宮のものづくり達人「ふくべ細工/末広2丁目 杉山律子さん」 ..... 4
- 雀宮の歴史・史跡コーナー「あらだて地藏尊」 ..... 4



**聖火ランナー**

イン タ ビ ュー

1 走った日時 2 走った場所 3 聖火ランナーに応募したきっかけは？  
4 聖火ランナーとして走ってみたいかがでしたか？  
5 今後の目標を教えてください。

針ヶ谷町 布野俊一さん



- 1 3月29日(月) 午後2時23分頃
- 2 壬生町おもちゃのまち駅入口付近
- 3 前回の東京オリンピックの聖火リレーの時、中学生だった私は、聖火ランナーの伴走者を務めました。その時から、次に日本でオリンピックが開催される時には是非、本物の聖火ランナーになりたいとずっと願ってきました。
- 4 長年の夢が叶い、最高の気分です。
- 5 聖火ランナーに選ばれた誇りを忘れずに、今後とも微力ながら地域や社会に貢献していきたいと思っています。

高砂町 小林隆さん



- 1 3月29日(月) 午後2時40分頃
- 2 壬生町新清水大橋東
- 3 現在、雀宮に飲食店を開業し15年になりますが、地域のボランティアグループや知的障がい者施設とご縁があり、交流や慰問を続けてきました。この機会に施設の子供たちやお世話になった地域の皆様に、聖火を持って走る姿を見せて喜んでほしいと思い志望しました。
- 4 好天にも恵まれ、応援の皆さんの顔が良く見えて楽しく走れました。スタッフ・裏方の方々のご苦勞も感じられ、感謝しかありません。
- 5 今回の行動をきっかけに、ボランティアに加え、地域の発展や活性化にいっそう協力していこうと思っています。

羽牛田町 篠崎順子さん



- 1 3月28日(日) 午前10時50分頃
- 2 佐野市天明大橋東
- 3 4年前、「脳静脈洞血栓症」で倒れた私は、家族や病院の方々にも命を救われ、更にはたくさんの方々の励ましでリハビリに取り組み、ここまで回復することができました。聖火ランナーとして走ることで、支えてくださった皆様への恩返しをしたい、そして病気や障がいを抱えた人々にも希望を与えたいと思い志望しました。
- 4 聖火ランナーを立派に務めるためにずっと練習してきましたが、走ってみるとあっという間に終わっていました。でも、皆さんの応援のおかげで無事に完走できて良かったと思います。
- 5 家業である苺の作業に復帰したいし、もっとできることも増やし、チャレンジしていきたいです。

★ カード提示でうれしい優待を受けられる! ★

**自治会会員の優待制度**  
自治会バスポート

**宮PASS** (DAYSカード)

宇都宮市自治会連合会では、自治会に加入している皆様にご利用いただけるよう、各施設と割引やサービス特典契約をしています。サービス提供施設は市内の飲食店・遊園地のほか県内の宿泊・レジャー施設などで、協力店を示すステッカーが掲示されています。お食事や施設のご利用の際は、ぜひご活用ください。

宮PASSについて詳しくは

◆ 日光街道御宿場印めぐり「雀宮宿印」販売中!

**雀宮宿印**

NPO法人「雀宮まちづくりプロジェクト」では、東京都の足立成和信用金庫が企画する「日光街道・日光西街道御宿場印プロジェクト」に参加し、「雀宮宿」の御宿場印を製作しました。

雀宮地区市民センター窓口(654-1013)のほか、宇都宮市観光案内所(JR宇都宮駅構内)で1枚300円で販売しています。

御宿場印について詳しくは

地域の皆さんの活動をご紹介します!

**雀アラカルト**

詳細はホームページをご覧ください

雀宮地域の情報満載!! ホームページに今すぐアクセス!  
   
<https://www.suzumenomiya.com/>  
さらに詳しい情報はこちらへ!

雀宮東小と雀宮中央小で元気に田植え 5/12 5/24



5月12日(水)、雀宮東小で全校児童による田植えが行われました。地域ボランティアの「のみどり隊」やPTAの支援をいただきながら昭和52年から同校で続けてきた活動も、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、秋の稲刈りのみ行ったため、1~2年生にとっては初めて、3年生以上は2年ぶりの田植えとなりました。

今回、感染拡大防止に留意し保護者等の「フリー参観」は実施しなかったのですが、児童たちは上級生と下級生がペアになって田んぼに裸足で入り、泥んこになりながらも楽しそうに取り組んでいました。



また、5月24日(月)には、雀宮中央小の総合的学習のひとつとして2年生と5年生の児童180名による田植えが行われました。

協力者大塚さんのご厚意によりきれいに整地された田んぼに、児童たち全員が裸足となって入り、深みと泥で足を取られたり、尻もちをついたり、泥んこになりながらも懸命に取り組み、終了後は植えた苗を見ながら、満足感であふれていました。

児童180名が一列に並び、田植えをする姿はさすがに圧巻でした。秋の収穫を心待ちにしたいと思います。

第13回雀宮映画祭が開催されました。 7/3

第13回雀宮映画祭が、7月3日(土)午前10時から、市立南図書館サザンクロスホールにて開催され、77名の来場者が上映を楽しめました。

平成21年から雀宮のまちづくりの一環として始めた『雀宮映画祭』は、令和3年現在で13年目を迎えることができました。開催にあたっては新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して行いました。

上映作品の『続・深夜食堂』は、深夜、小林薫さん演ずるマスターの食堂に集う常連客を中心に、様々な事情や背景を背負った人々の交流や人間模様を描いた映画で、平成30年12月の同映画祭で上映した作品の続編になります。

今回はボランティアスタッフとして、雀宮中学校の3年生の女子生徒の皆さん3名に、アナウンスや受付のお手伝いをしていただきました。

雀宮映画祭実行委員会の唐澤委員長は、「コロナ感染警戒の状況下、多くの方々にご来場いただき、感謝の思いでいっぱいです。これからも地域の皆様のために良い映画を上映していければと思っています」と話していました。



雀宮神社で伝統の「夏越しのお祓い」 7/4

7月4日、雀宮神社にて、伝統の「夏越しのお祓い」が執り行われました。このお祓いは、神社氏子と崇敬者の皆様の新年から6月までの「けがれ」等を払い、無病息災を祈るものです。

当日は、境内と神社内の神殿を整え、宮司のお祓いや祝詞などで神事を進め、地域の皆様の安寧を祈り、無事に終えることができました。

これまでは夏越しのお祓いにあわせて、神社を基点に、日の出町五差路まで「神輿渡御」を行っていましたが、三密対応が難しく、今年も昨年に続き残念ながら取りやめとなりました。

来年こそは新型コロナウイルス対応が進み、神輿渡御ができることを期待します。



# あしらせ 主要イベント

※状況により中止または延期等になることがあります。

- 11/7日 第12回 雀宮ちゅんちゅんウォーク大会
- 11/14日 令和3年 宇都宮市雀宮中学校区成人式
- 11/20日・21日 第48回 雀宮地域文化祭・収穫祭
- 11/27日 令和3年 雀老連歩け歩け大会

## 雀宮の ものづくり達人

### 「ふくべ細工」

末広2丁目 杉山 律子さん



雀宮地域文化祭・収穫祭に毎年見事な『ふくべ細工』を出品している、末広2丁目の杉山律子さんをご紹介します。

ふくべ細工は、かんぴょうの原料であるふくべ(夕顔の実)の果肉を取り除き、外皮を乾燥させたものを材料としてつくられます。ふくべの形を活かして、墨入れや花器、小物入れなどに加工され、利用されるほか、色鮮やかに絵付けされた人形や、魔除けの鬼の面などが土産品として有名です。

もともと趣味で日光彫を習っていた杉山さんが『ふくべ細工』を始めたのは、上三川町でふくべ細工を手掛けていた故・渡辺孝一さんの教室に参加したのがきっかけでした。それまでは筆による絵付けのみであったふくべ細工を日光彫や鎌倉彫の技法で彫り込み、更に彩色を施して芸術の域まで高め上げた『ふくべ一刀彫』という技法に惹かれ、渡辺さんが亡くなった後も製作を続けてきました。



ふくべ細工の魅力は、同じ図案や絵柄でも、曲面に彫り込むため、ふたと同じ作品ができないところ、といえます。ふくべの乾燥に4年、製作に1年近くかかるそうで、現在も来年の干支の寅を題材に製作中とのことです。

歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

## 雀宮の歴史・史跡 18 「あらだて地蔵尊」(雀の宮5丁目)

江戸時代、街道のどこの宿場の入り口にも「木戸」という番所があり、出入者を管理していた。雀宮宿にも上の木戸(観音堂通り)と下の木戸(現在の国道4号線と安塚街道の交差点通り)があった。下の木戸から西に100mほど安塚方面に行くとV字型に分かれ道がある。そのあたりの土地は昔、小倉家(雀宮宿の本陣)の所有地だったが、地元の有力者「雀宮七人衆」の墓地として下され、新たに墓を建てるということで「あらだて」という地名がつけられた。現在も墓地として使われている。「あらだて」に建てられた地蔵なのであらだて地蔵尊の名前が付いた。

この地蔵尊は安政の大獄のあった頃、今から約160年前の安政6年(1859年)、世は尊王攘夷で揺れ動いた激動の時代に建てられた。他国から雀宮宿に働きに来た飯盛り女や奉公人、無宿人の旅人などの無縁仏を葬るために当時の有力者たち5人が世話人となって寄進したということだ。

今でもこのお地蔵様には、誰が供えているのかいつも季節の花が供えられ、頭に赤い頭巾が、首には赤い涎掛けがかけてある。

【雀宮郷土史研究会】



**100%成績UP** にこだわる塾

**嬰鳴進学塾** 学習コンシェルジュ

お子さま別専用学習プランを作成!

自立コース 美力テスト対策

個別コース 学校対策

無料体験随時受付中!!

0120-061-015

**表紙のことば** 期待と不安が交錯する中、開催された東京オリンピック。それに先立ち、3月から7月までの5か月間にわたり、日本全国をおよそ1万人のランナーが聖火をリレーしてきましたが、雀宮地区在住の方々も走られたとのことで、登場していただきました。

また、前回(1964年)の東京大会の聖火リレーで、雀宮地区内をランナーが走った写真がありましたので掲載しました。

オリンピック開催には賛否両論ありましたが、聖火ランナーの皆様にとっては、一生に一度の、かけがえない思い出になったことでしょう。

【編集・発行】

雀宮地区まちづくり推進協議会(雀宮地区市民センター内)  
〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp TEL 654-1013 FAX 653-5646

### 雀宮地区の人口 (令和3年8月1日現在)

- 人口 41,057人
- 世帯数 17,278世帯
- 男性 20,431人
- 女性 20,626人